

国際コミュニケーション研究科

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

【修士課程】

国際コミュニケーション研究科修士課程では、国際的にも国内的にもグローバル化が進行し、同時にローカルな視点も求められる現代の状況にあって、そのなかで活躍できる人材の育成をめざします。その方法として、次の3領域を有機的に連関させた教育を行います。第1は、英語と日本語に関する専門知識とその運用能力に重点を置いた言語コミュニケーション研究。第2は、国際関係分野での国際関係論、国際ビジネスと異文化理解に関する研究。第3は、文化人類学・民俗学の視点を取り入れた多文化間比較研究です。学生は3領域のいずれかに所属して専門的な研究を行うとともに、他の2領域にも関りながら幅広い研究をめざします。

- (1) 各専攻領域に関する専門的な知識を獲得し、主体的な研究態度が養えるよう、豊富かつ系統的な授業科目を設置します。
- (2) 各専攻領域における専門性を深めるとともに、他領域の研究と有機的に関る研究がなし得るよう、全領域研究の共通基盤としての必修科目を設置します。
- (3) 他領域の研究と有機的に関る研究がなし得るよう、主研究領域以外の2領域からそれぞれ1科目(合計2科目4単位)を修得することを義務づけます。
- (4) 各専攻領域において自由かつ系統的な研究・教育を可能とする複数教員指導体制を採用します。
- (5) 現場体験を通して視野の広い見識が得られるよう、フィールドワーク科目を設置します。